

トンボやホタルが飛び交い、すべての生態系に優しいのどかな四万十川の文化は、地域の貴重な宝もの。 流域の様々な生きものが調和を保ちながら、脈々と引き継がれてきた日本の原風景がここにある。



川漁師







屋形船とホタルの群生



日本最後の清流四万十川



四万十川は津野町不入山を源流とし、山脈を蛇行しながら多くの支流を集 め、四万十市で太平洋に流れ込む四国最長の大河(全長196km)です。四季折々 の景観は訪れる人々を魅了し、また昔ながらの伝統的な漁が行われているのも 特長です。本流に大規模なダムがなく、流域の生態系は多様な生物が生息し「人 と自然の共生」を保ち続けた地域の貴重な財産となっています。欄干のない沈 下橋(48箇所)は、今も住民の生活道であるとともに、四万十川の風物詩となっ ています。

## 一般社団法人 四万十市観光協会







一般社団法人 四万十市観光協会





## 「四万十川は貴重な財産」自然豊かな四万十川の文化《伝統漁法・食・生態系》にふれあいながら、様々な体験をお楽しみ頂けます。









トンボ自然公園

世界初のトンポ保護区。81種のトンポが見つかった日本一のトンポ保護区で、年中トンポたちが住 みやすい環境づくりをしている。 これは「人の手が自然の保護には必要である」とい

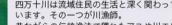
四万十川学遊館











昔ながらの伝統漁法で獲れたアユや川エビ、 うなぎなどの食文化はまさに贅沢な自然の





四万十川の伝統漁法の仕掛け体験



